



校長室から

校長 河須崎 恒

シトシト、ジメジメそしてムシムシ。まったく梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。この時期、衛生面や健康面への注意には特に気を遣いますが、「つゆ」を梅の実が熟する頃から「梅雨」。湿度が高くカビが生えやすいことから「霉雨」。栗の花を落としてしまう雨がちなところから「栗花落」。いろいろな見方・書き方があるものです。先人の豊かな感性を感じます。

さて、「瑞々しい感性を磨け」「豊かな感受性を育てろ」と 4 月から諸君にハッパをかけ続けていますが、どうすれば感性が磨けるの？と、戸惑っている人もいます。そこで、ヒントをひとつ。覚えていますか。「誕生日」の話。Happy Birthday と祝ってもらただけでなく、産んでくれてありがとうと両親や家族に感謝する日でもあると。今までと違った場面を想像するだけでワクワクしてきます。「梅雨」も同じです。おそらく、この季節が好きだという人は少ないと思いますが、目線を変えてみれば、田んぼや畑、山の緑も生き生きと見えませんか。植物にはまさに慈雨。自分には鬱陶しいけど植物たちは喜んでいて。爽やかに楽しめますよ。

物事を違った方向から見つめるという柔軟な発想も、「豊かな感性」の成せるわざです。そうすることで視野が広がり、今まで見えなかったものが見えてくる。しかし、見方を変えるのはなかなか難しいものです。ですが、困った時の神頼みならぬ「困ったときの逆転の発想」です。また、視野を広げるには図書館が一番。本達があなたに疑似体験（間接経験）をさせてくれます。さらに、行動（チャレンジ精神）が加われば言うことなしです。ガンバレ鹿高生。

～7 月から 8 月の主な行事予定～

- 7 月 2 日：進学希望者保護者説明会
- 7 日：大学等推薦入試説明会（三年生）
- 22 日：閉講式
- 23 日：夏季休業・保護者面談（～27）
 - ・休業中には外部講師による学力向上講座や課外授業が実施されます。
- 8 月 4 日：中学生一日体験学習
- 24 日：就職希望者校内選考会議（三年生）
- 31 日：開講式
 - ・今年度から一日早く始まります。
- 9 月 1 日：就職希望者模擬面接開始

平和への誓い 沖縄へ

6 月 16 日、二年生は、沖縄修学旅行事前学習として、「ひめゆり学徒隊」の生存者である上江田千代（かみえだ ちよ）さんに来校していただき、当時のお話をうかがいました。

上江田さんは、1944 年、師範学校に入学しましたが、一年後、動員を受け、豊見城の病院壕で傷病兵の看護にあたりました。その後、任務を解かれて家族の元に帰り、アメリカ軍の攻撃を受けながらも、九死に一生を得たそうです。

1945 年のこの日は、アメリカ軍に保護される 4 日前。まだ病院壕にいた、とのことでした。

「ひめゆり」という言葉はどこかで聞いてはいても、生徒たちのほとんどは、沖縄戦の知識はありませんでした。その生徒たちに、上江田さんのお話は、どう響いたのでしょうか。これから沖縄へ行くまでの数ヶ月、さらに勉強を深めていくことでしょう。



エアコンがついた！

学校は、寒くて暑い場所である。暑いから勉強がはかどらず、長い休業日がある（？）。ところがその教室の天井にエアコンがついた。「学校」には、「ない」のが基本である。学校の環境整備には多大な財政的負担が必要となり、それを税金で賄うのであるから、一定の不便は仕方がない。エアコンはなかった。しかし時代は変化した。エアコンがない建物は、今や、学校ぐらいであろう。現代の学習環境としては、かなり劣悪。そこで、自主的にエアコンを設置するようになってきた。遅ればせながら本校も、今夏からの運用となった。経費は、在校生の受益者負担、ということになる。さて、こうした事情であるから、生徒諸君にはそれに見合った成果を期待したいものである。



放課後⑩～的を射る？弓道部～

走る少女の後方が弓道場である。その前に二つの白い円形の物体。更にその右には青いジャージの群れ。放課後の弓道部である。

近年めざましい活躍を続ける弓道部には、新入部員もたくさん。でも、施設が人数に追いつかない。そこで、こうして外に、新入生のジャージの群れが出現する。ここで、弓と矢を持ち、型の練習などをする。弓道は、ほぼ全員が初心者であるからして、そうそう気軽に実際の的に向かって矢を放つ、というわけにはいかない。十分なトレーニングを積んでから、初めて、本物の的に向かう。

それにしても人数が多いと大変、とのこと。一度に弓道場の的に向かうことができるのは 6 人。22 人や 18 人で試合はできない。12 人も無理。弓道場で弓を引くのはなかなか大変らしい。その中で立派な成績を残している彼らの努力は、余人には測りがたいものがある。

リレーエッセイ鹿苑今昔⑪～ネパールから～

6 月 12 日、ネパールからヤン校長とラマ先生が来校しました。お二人は、昨年の本校などからの支援のお礼に来日しました。直接お話を聞くと、やはり、被害の大きさに驚かされます。あの地震で、かつて本校生徒会が中心となった募金活動で建てた校舎は、壊れてしまったそうです。残念です。鹿島高校にとっては遠くて近い国、ネパールからのお客様でした。



鹿高なう～全国大会予選の主な結果～

- 将棋部：女子団体 優勝
 - 全国高等学校総合文化祭出場決定
- 弓道部：男子個人 準優勝
 - 全国高等学校総合体育大会出場決定
- 男子団体 第 3 位
- 女子個人 第 6 位
- 陸上部：女子 800 m 第 4 位
 - 全国高校総体北関東予選出場
- 剣道部：女子団体 第 3 位
- 男子団体 ベスト 8
- 女子バス部：ベスト 8
- 男子バレー部：関東地区予選 優勝
- 野球部：関東地区大会 優勝
- ※甲子園への初戦は、7 月 10 日(金)12:20 ～。ひたちなか市民球場です。

大会を終えて...

高校総体北関東予選(800 m)に出場した陸上部 3 年生に声をかけると「まだまだ走りますよ。」との返事。残念ながら全国大会へは届きませんでしたが、凜とした彼女の表情はとても素敵でした。今後が楽しみです。



編集後記：これを書いている現在、校内には数名の若者がいる。教育実習生である。二週間から四週間にわたって実習する。その程度の日数で何がわかるのか、という意見もあるが、現在までの教師は、すべてその程度の実習で、教職に就いている。本当の教師としての研修には、実は、終わりが無い。初めて仕事として教壇に立ったその日から、教壇を去る日まで、毎日が研修なのである。今年の若者の何人が教壇に立つのか、それはわからない。しかし、彼らが、教育の現場を、生徒としてではなく、少しでも理解できたら、今はそれで十分である。

茨城県立鹿島高等学校 学校だより
『鹿苑だより』第 16 号（隔月刊）
発行：茨城県立鹿島高等学校
校長 河須崎 恒
編集：広報委員会
中沢雅彦 山崎律子